

話してみよう 함께 말해 봐요

韓国語

募集要項

韓国語で演じながら表現を楽しむ新しい形のスピーチコンテストに参加してみませんか？

第8回鳥取大会
【応募締切】
11月16日(金)
(必着)

最優秀賞受賞者には日韓往復航空券など豪華な賞品が贈られます！

韓国語を学んでいる初級、中級学習者の皆さん、この機会に日ごろの学習の成果を試してみませんか？
皆さんからのご応募をお待ちしています！

【本選開催日】2012年12月23日(日) 13:00～

【会場】米子コンベンションセンター2階 国際会議室

(米子市末広町294番地)

【主催】鳥取県

【運営】公益財団法人鳥取県国際交流財団

【共催】駐大阪韓国文化院

【特別協賛】ASIANA AIRLINES



開催趣旨：韓国語の表現力を見せる場

韓国語を学び始めて間もない初級学習者でも楽しんで参加できるスピーチ大会があれば、そして学習者や指導者、友だちや家族のみならず、みなさんが韓国語を学ぶ楽しさを感じられたら……そんな思いから、2003年に「話してみよう韓国語」は東京と大阪で誕生しました。「日韓友情年」を契機に2005年から毎年のように開催都市が増え続け、本年度は全国10都市でそれぞれ地域の特色を生かした大会を開催するまでになりました。

「話してみよう韓国語」には中高生、大学生、大学院生、会社員、主婦など、様々な年齢、職業の方々に参加しており、韓国語学習者層の厚さを物語っています。

初級学習者はもちろん、中級以上の学習者も参加できる部門を設定していますので、学習者の皆さんが学習歴に応じて繰り返しチャレンジすることもできます。

【鳥取大会の紹介】

鳥取県と韓国は、米子ソウル便や環日本海定期貨客船を利用した行政、文化、スポーツなど様々な分野での交流が活発に行われています。また、2010年には韓国ドラマの撮影が行われ、さらに県民の韓国への関心は高くなっており、毎年多くの来場者で熱気あふれる大会となっています。

厳しい審査の後には、民団婦人部の皆さんのご協力による手づくりの韓国家庭料理を囲むでの交流会などお楽しみも盛りだくさんです。韓国語を学習されている皆さんからの多くの参加申込みをお待ちしております。

クムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会と連携

中高生スキット部門に出場した高校生のうち各大会で最上位組は、3月に東京で行われる“韓国語の甲子園”クムホ・アジアナ杯高校生大会に出場する権利を得ることができます(ただし、中高生スキット部門応募総数が5組以上の大会の場合)。地方から出場する高校生には、東京までの往復交通費と東京での1泊分の宿泊が提供されます。同大会の入賞者は副賞として約1週間の韓国研修旅行に招待されます。また、最優秀賞受賞者は、研修に続いて韓国の大学で約3週間の語学研修に参加することができます。

■クムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会の日程

【本 選】2013年3月16日(土)14:00～(予定)

【会 場】韓国文化院/ソラダンホール

【主 催】クムホ・アジアナ文化財団、駐日韓国大使館 韓国文化院、日中韓文化交流フォーラム

【特別協賛】ASIANA AIRLINES、KUMHO タイヤ、ANA、慶熙大学校国際教育院

◆問い合わせ・募集要項の詳細はホームページで <http://www.asiana.co.jp/speech/>

各部門参加資格・説明

中学生スキット部門

＜2人1組で挑戦します＞

制限時間 3分。指定の台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。1人での参加はできません。本文自体を変えることはできませんが、文末を変えたり、文章を一部追加することができます(本文全体の3分の1程度まで)。また、台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に、小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。

○参加資格

- (1) 日本国内の学校に在籍する、韓国語を母語としない中高生で、本選(2次審査)時に、満20歳未満の者。国籍は問いません。
- (2) 韓国語学習歴が2年以内で、本選(2次審査)までの学校等での学習時間が100時間までを目安とする初級学習者、韓国語能力試験1級未満、ハングル検定5級程度の中高生の者。
- (3) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が合算して1カ月以内の中高生の者。
- (4) 独習している中高生は、学習歴・学習時間が(2)に準ずる者。
- (5) 応募時点から過去1年以内に、本大会及び他の韓国語スピーチコンテストの本選で最上位(最優秀賞、大賞、優勝など)を受賞したことがない中高生の者。

指定スキット部門

＜2人1組で挑戦します＞

制限時間 3分。指定台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。1人での参加はできません。本文自体を変えることはできませんが、文末を変えたり、文章を一部追加することができます(本文全体の3分の1程度まで)。自由創作部分は制限時間内であれば制限はありません。なお、台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に、小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。

○参加資格

- (1) 韓国語を母語としない中学生以上の者。国籍は問いません。
- (2) 中学生スキット部門の参加資格に規定する学習歴を超える中高生。
- (3) 大学生・一般： 応募時に韓国語学習歴が2年以内で本選(2次審査)までの学校等での学習時間が100時間までを目安とする初級学習者。大学生の場合、日本国内の学校に在籍する者。
- (4) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が合算して1カ月以内の者。
- (5) 独習者等は、学習歴・学習時間が(3)に準ずる者。
- (6) 韓国語能力試験初級(1～2級)、ハングル能力検定試験 4～5級程度の学習者を想定しています。
- (7) 応募時点から過去1年以内に、本大会を含む他の韓国語コンテスト等の本選で最上位(最優秀賞、優勝、大賞など)を受賞したことがない者。ただし、過去の中高生スキット部門最優秀賞受賞者は応募可能。

創作スキット部門

＜2人1組で挑戦します＞

制限時間2分30秒～3分の間で発表が終わるようになってください。指定した場所設定での2人以上登場人物のいるスキット(必ず、会話をすること、ナレーションなど会話になっていないものは不可)を創作して暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。台本を読み上げることはできません。2人1組を原則としますが、やむを得ず相手を探し切れなかった場合は、1人2役以上を条件に応募を認めます。

服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に、小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。

◆設定場面:「駅」(お土産屋、観光案内所、改札、きつぷ売場など)での会話

登場人物:2名以上であれば自由に設定してください

(1人2役以上や、登場人物が3名でも4名でも可能です。ただし、2人で演じます。)

*台本の作り方は「指定スキット部門」の台本を参考に作成してください

○参加資格

次の条件をすべて満たす方は、どなたでも応募できます。

(1) 韓国語を母語としない中学生以上の者。国籍は問いません。

(2) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が合算して1年以内の者。

(3) 応募時点から過去1年以内に、本大会を含む他の韓国語コンテスト等の本選で最上位(最優秀賞、優勝、大賞など)を受賞したことがない者。ただし、過去の中高校生スキット部門または指定スキット部門の最優秀賞受賞者は応募可能。

ステージ上での注意事項 (スキット各部門共通)

- ・本選の発表時に主催者側がステージ上に準備できるものは、椅子2脚・長机1台のみです。
- ・施設管理及び衛生面の観点から舞台上に飲食物を持ち込むことは禁じます。
- ・1次審査で各部門の参加資格を超える語学力を持っていると判断された方は、2次審査に進めないとあります。

応募方法

以下の書類等を同封し、応募先まで郵送されるかご持参ください。なお、一度提出された書類等は一切返却できませんので、ご了承ください。

※ 応募締め切り：平成24年11月16日(金)必着

＜全部門共通の書類＞ ⇒参加者全員分の書類が必要です。

・所定の参加申込書：2名で参加の場合は、各人の参加申込書を同一の封筒等に入れてお申込みください。複数部門のお申し込みはできません。また、申し込み後に参加者を交替することはできませんので、ご注意ください。

＜中高生スキット部門・指定スキット部門＞

- ・スキット台本の完成版原稿(アトリブを追加した場合、追加変更した部分が変わるように入れて送ってください。)
- ・スキット台本のセリフを録音したものの(テープ、CD-Rのいずれか)
- ・使用する予定の小道具のメモ

＜創作スキット部門＞

- ・創作スキット原稿(韓国語・日本語各1部)とそのファイルの入ったCD-R (申し込み後、1次審査開始前(11月22日)までは変更が可能ですが、最終原稿を事前にEメールで送ってください。)
- ・創作スキットの台本制作時は、指定スキット部門の台本の通り①題名、②登場人物、③場面設定などをわかりやすく入れてください。
- ・創作スキットを録音したものの(テープ、CD-Rのいずれか)
- ・使用する予定の小道具のメモ

※公平な審査のために次の点を必ずお守りください

- ① 録音媒体には発表内容以外の事項(自己紹介など)は入れないでください。減点の対象になります。録音媒体にお名前をお書きください。
- ② 1つのテーマ・CD-Rに複数組の録音を入れなくてください(1組1つずつを厳守願います)。
- ③ 録音される際は、録音時のボリュームを大きめにし、送付する前に必ず再生して音質等を確認してください。録音してしまったり、ボリュームが小さくて聞きづらい場合、第1次審査の際、不利になることがあります。

第1次審査(予選)と本選の実施について

応募者多数の場合、第1次審査(予選)を経て本選の出場者を選抜します。

【第1次審査(予選)】 テーマ審査

中高生スキット部門 …… 10組前後を選抜します。

指定スキット部門 …… 7組前後を選抜します。

創作スキット部門 …… 5組前後を選抜します。

※各部門の応募状況により出場者数の変更があります。

※審査の結果は、12月上旬頃に代表者またはご本人へ宛てて通知します。

【本選】

開催日時： 2012年12月23日(日)13:00～ (午前中に事前説明会を行います)

会場： 米子コンベンションセンター(ビッグシップ)2F 国際会議室

(鳥取県米子市末広町294)



●駐車場のご案内

※ビッグシップ前駐車場(米子駅前簡易駐車場)に駐車し、米子コンベンションセンターの会議や催事に参加された方は、駐車券をご持参いただき、会場内設置の割引認識機にお通しください。(ご参加時間内の駐車料金が無料になります)

※駐車場P1～P5は、米子コンベンションセンターの近隣の有料駐車場です。(こちらの駐車場ではコンベンションセンターの利用割引は適用されません)

- ・JR 米子駅から徒歩 5 分
- ・米子自動車道米子 IC から山陰自動車道(松江方面)経由米子中 IC から車で約 5 分 (※松江方面からお越しの場合は、米子西 IC を下りてください)
- ・米子コンベンションセンターホームページをご参照ください。
<http://www.bigship.or.jp/>

本選の審査について

■審査基準は次のとおりです。※()内の数字は 100 点中の配点です

◎中高生スキット部門・指定スキット部門

発 音 (50 点)……………正確さ、イントネーション、聞き取りやすさ
総合表現力 (40 点)……………話す速度、強弱、身振りや手振り、感情表現など、アドリブ含む
暗 唱 (10 点)……………原稿を見ないで発表

◎創作スキット部門

発音・表現(40点)……正確さ、イントネーション、聞き取り、話す速度、強弱、感情表現など
内容・構成(40点)……内容、語彙的な問題、誤用、起承転結など
暗唱(10点)……原稿を見ないで発表
質疑応答(10点)

※本選の発表順は、予め厳正なくじ引きにより決定し、お知らせします。

※質疑応答について

創作スキット部門は発表後に審査員が韓国語で質問をします。それに対して韓国語で答えてください。

※発音・イントネーション等の基準について

本大会では、ソウルを標準語とする韓国語を基準にして審査を行います。

本選参加者の交通費補助

最寄りの地方大会に参加することを基本とします。本選出場者の交通費が1人往復5,000円を超える場合、1人10,000円を限度に助成します。参加者本人のみを対象とします。所属学校や他の機関から補助を受けられる方は対象となりません。

各賞(予定:変更されることがあります)

- ◆最優秀賞:各部門1グループ(名)ずつ
 - 中高生スキット部門: 賞状、クムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会への出場権(※)
 - 指定スキット部門: 賞状、旅行券または日韓往復航空券
 - 創作スキット部門: 賞状、旅行券または日韓往復航空券
- ◆優秀賞:各部門1グループ(名)ずつ
 - 各部門共通: 賞状、副賞
- ◆奨励賞:各部門1グループ(名)ずつ
 - 各部門共通: 賞状、副賞
- ◆特別賞: 中高生スキット部門より1グループ 賞状、副賞
- ◆努力賞: 入賞者以外の全参加者へ記念品など

(※) 中高生スキット部門の総応募数が5組以上だった大会のみ授与。

東京までの往復交通費十都内ホテル 1泊(朝食付、相部屋)が合わせて提供されます。中学生が最優秀賞を受賞した場合、高校生の最上位組が「出場権を獲得します。また、高校生の最優秀者が辞退した場合、次点受賞者が出場できるようになります。

総応募数が5組未満だった場合は、各大会実行委員会からクムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会事務局へ応募書類と応募音源を送っていただくことにより、事務局側で行う音源審査の対象とさせていただきます。音源審査全体から数組が「全国大会」への進出となります。

【応募・お問い合わせ】

公益財団法人鳥取県国際交流財団(米子事務所)

〒683-0043 鳥取県米子市末広町 294 番地 米子コンベンションセンター1階

電話:(0859)34-5931 ファックス:(0859)34-5955

〔利用時間: 平日 9:00～17:30 土日 10:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)〕

※ 「話してみよう韓国語第8回鳥取大会」の情報は、下記ホームページでも
ご覧いただけます。参加申込書のダウンロードもできます。

鳥取県国際交流財団 <http://www.torisyakyu.or.jp/?id=682>